



広報  
2017年/平成29年  
4月号  
-No.256-

# おおつき

世帯数 2,705戸 2～3月中の異動  
 人口 5,313人 出生.....2人  
 2556人 死亡.....26人  
 2,757人 転入.....17人  
 転出.....39人

町民のうきぎ (平成29年4月1日現在)  
 発行：大月町(☎0880-73-1181)  
 編集：大月町広報編集委員会

大月町立大月小学校



## 主な内容

- 平成29年度 町長施政方針要旨..... 2～4
- 平成29年度 当初予算..... 5
- 平成29年度 職員配置..... 6～7
- 新規採用職員紹介・大月町文化賞・ヌボーツ賞..... 8
- 申請してください！臨時福祉給付金..... 9
- 国保よりお知らせ..... 10
- 平成29年度 大月町特定健診実施予定表..... 11
- 原(地域支援企画員)からのお知らせ..... 12
- 農業委員および  
農地利用最適化推進委員を募集します..... 13
- 地域おこし協力隊・大月町移住応援隊 活動新聞..... 14
- ふるさと納税返礼品を募集します..... 15
- 避難情報(避難準備情報等)の名称変更..... 16
- 消防だより・国際交流員だより..... 17
- 行事予定表・合併浄化槽設置補助事業..... 18
- おしらせ INFORMATION..... 19
- 大月町制施行60周年記念式典..... 20

## 就任のごあいさつ



町長 岡田 順一

この度の町長選挙におきまして、町民の方々をはじめ関係各位の力強いご支援と温かいご厚情を賜り、引き続き2期目の町政運営を担うこととなりました。心から厚くお礼を申し上げます。

選挙期間中は、町内45ヶ所において街頭から少子高齢化対策、若者の定住促進を基に2060年に向けた人口ビジョン、政策といたしました子育て支援、第2次の防災対策、農業、水産業、林業等の一次産業の振興等訴えてまいりました。

まずは、6月議会終了後地区別懇談会を順次開催し、住民と協議しながらできるものから積極的に取り組んでまいります。

また、大月町立保育所再編計画検討委員会では今後の保育所の在り方を協議していただいた結果、第7回（1月18日）の検討委員会において、3園を1園に統合する町案を支持することで合意が得られました。

この結果を踏まえ地域の皆さまへ説明を行い、ご意見やご要望を聞く中で、子育てに

おいて不安や負担の少ない、喜びや生きがいを感じる事ができるよう進めてまいりたいと考えております。

大好きなこの本町を育み支えてくれたのは、今の高齢者の方々です。その方々から1期ではできないことに限度があるので2期目に託したいとのご意見をいただきました。身の引き締まる思いでございます。

多くの皆さまからいただきましたご意見を踏まえ、現在抱えている課題、更に本町が目指すべき方向性をしっかりと見極め、町民の皆さまから「住んでよかったと思えるまちづくり」を積極的に進めてまいりますので、皆さまの1層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。2期目の就任のご挨拶といたします。

## 就任のごあいさつ



副町長 浜崎 伸一

この度、岡田町長が2期目を迎えるにあたり、町長から副町長の指名を受け、3月29日第2回大月町議会臨時会におきまして、任命同意を賜り、3月29日付けをもって、引き続き就任することになりました。

本町には、まだまだ多くの行政課題が山積している中で、持続的な行財政運営を進めていくには、費用対効果を重視した施策を取捨選択し、限りある貴重な財源を有効に活用することが重要であると考えております。また、町の職員も大幅に若返っており、将来の町行政を担っていく人材として活躍してもらえ

るようにも努めてまいりたいと思っております。

これからも、職員と共に町長を補佐し、議会や町民の皆さまのご協力を賜りながら、町政発展のため「大月町総合振興計画」を柱に、「大月町まち・ひと・しごと創生総合戦略」など、様々な施策の推進に誠心誠意取り組む所存であります。

町民の皆さまには、今後ともご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

# 平成29年度町長施政方針要旨

平成29年3月  
第1回大月町議会定例会町長の施政方針および行政報告

平成29年度における本町の主な取り組みについてご報告させていただきます。

## まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成28年度より本格的に取り組みを開始いたしました本計画につきまして、国の示します4つの政策分野に沿った基本目標を掲げ、2060年の推計人口3,008人を達成するべく、「雇用の創出」「移住の促進」「子育て世代へのサポート」「時代に合った地域拠点の整備」に取り組んでまいります。

平成28年度は、安定した雇用の創出を目指すものとして、道の駅「ふれあいパーク・

大月」が地産地消・地産外商の拠点となるように、集客イベントの開催、ふるさと納税返礼品の掘りしや磨き上げに取り組み収益面、雇用面においても一定の成果を上げることができました。

また、同施設を活用し新たなまちづくりに取り組むため、平成27年度より研修会や学習会、マーケット調査等を行っております。平成29年度には当初予算にも計上しておりますが、道の駅地域拠点機能強化計画推進事業としまして、道の駅のグランドデザインを決定し、基本計画の策定を行うこととしております。道の駅が様々なニーズに対応できる多機能型拠点となる施設とし、地方創生総合戦略の核となるよう協議を進めてまいります。



時代に合った地域拠点の整備としまして、姫ノ井地区で集落活動センター事業を進めております。平成28年度の主な活動としましては、地域活性化を目的としてツツジまつりやコスモスマつりの実施、景観整備や鳥獣対策を目的とした耕作放棄地の整備などの取り組みを行っております。

平成29年度は、前年度の活動に加え、高齢者の見守り活動や防災活動、収益活動にもつながるイベント等の実施や、約30アールの耕作放棄地を活用して農作物栽培にも取り組んでいく予定となっております。また栽培した作物を使った味噌などの加工品作りも計画をしております。地域の支え合いや活性化に向けた仕組みづくりに取り組んでいただいております。

今後、更なる活動を進めるための拠点整備計画も進めており、平成28年度に設計委託を完了し、平成29年度には約60坪の拠点を建築する計画となっております。センター内には、バリアフリー対応の集会施設や、地域住民の憩いの場となるカフェの整備、加工品づくりや農家レストランに対応した厨房施設を整備する予定です。

その他、既存事業の拡充や新規事業の導入を進め、本町総合戦略で掲げた4つの目標

の中で、柱とする基本目標である「大月町への新しい人の流れをつくる」を推進するためJ・ターン・Uターンの促進や新たな人材誘致に積極的取り組み一方、住環境の整備を行い、町内在住者を町外に出さない事業にも取り組んでまいります。



## 防災事業

近い将来発生が予想される南海トラフ地震に備え、防災体制の強化を図り、各種対策に全町あげて取り組んでいくところです。

特にこれまで、津波被害から命を守るため、沿岸部地域への津波避難路・避難広場整備に重点投資を行いながら施設の早期完成を図ってまいりました。また、孤立化が予想される本町にあって、隣接市町村との「いのちの道」としての連絡道となる旧広域農道から昇格した県道中村宿毛線の整備促進活動を積極的に行い一日も早い完成を目指してまいります。

防災備蓄倉庫や防災行政無線設備などの主要なハード整備についてはおおむね完了したところですが、防災・減災対策に終わりはありません。住宅耐震化の促進や長期避難所の運営体制構築、そして大規模災害発生後の復旧・復興対策など、まだまだ数多くの課題が山積しています。

今後においても、これら課題への対応を着実に進め、災害に強いまちづくりの実現に向け、鋭意取り組んでまいります。



## 産業振興

### ○農業

本町農業の主幹である施設園芸では、既存のハウス施設の強化や延命化を図るための支援を行うとともに、増収や病害抑制、品質の向上に結びつける環境制御技術に取り組み農業者に必要な機器の導入を支援するなど、次世代型施設園芸システムの普及を促進し、高収量、高収益を実現す

る施設園芸農業を推進してまいります。

地域の農業を支える担い手対策では、あらたに農業を目指す研修生を支援する新規就農推進事業、そして就農初期の経営リスクの軽減や営農定着に向け青年就農者を支援する農業次世代人材投資事業等の活用を促進し、幡多農業振興センターや農協など関係機関と連携して、新規就農者等の確保・育成に向けた取り組みを進めてまいります。

また、首都圏などで開催される「新・農業人フェア」などに参加し、産地提案書による就農相談など、Ｊ・ＵターンのＵターンの者の確保・受入を行う取り組みも進めてまいります。

地域の農業を維持、発展させていくため、農地の集約化、機械や施設の共同利用、農作業の受委託など、地域が共同して行う集落営農が重要となっていますが、平成28年度に先進地視察や勉強会など、

重点的に取り組みを進めてまいりました春遠地区に「森の里春遠集落営農組合」が設立されており、本年度においても、集落営農の組織化に向け取り組んでいくとともに、農業公社などの複合型拠点整備の可能性についても調査・研究を進めてまいります。

### ○林業

森林整備の中核的担い手である森林組合において、森林所有者への適切な施策の提案等ができる林業の担い手を育成し、併せて森林組合の経営改善を支援してまいります。

森林の整備では、森林組合や自伐林家等が行う民有林の間伐や作業道の開設を支援するとともに、皆伐跡地の再造林を支援し循環型の林業を促進するなど、本町の貴重な森林資源の価値を高めるための取り組みを進めてまいります。

また、森林・山村多面的機能発揮対策として、森林組合や自伐林家等が実施する森林

資源の利活用や里山林の保全などを支援してまいります。

### ○水産業

環境保全対策として、藻場の再生やサンゴの保全など、漁業環境の整備を行うとともに、宿毛湾内の漁協や水産業振興会と連携し種苗放流を行うなど、地域資源を守り育てる取り組みを進めてまいります。

漁業の担い手対策では、自営等の沿岸漁船漁業者として自立を支援する新規漁業就業者支援事業の活用等により、漁業指導所や漁協などと連携して漁業者の確保・育成に取り組んでまいります。

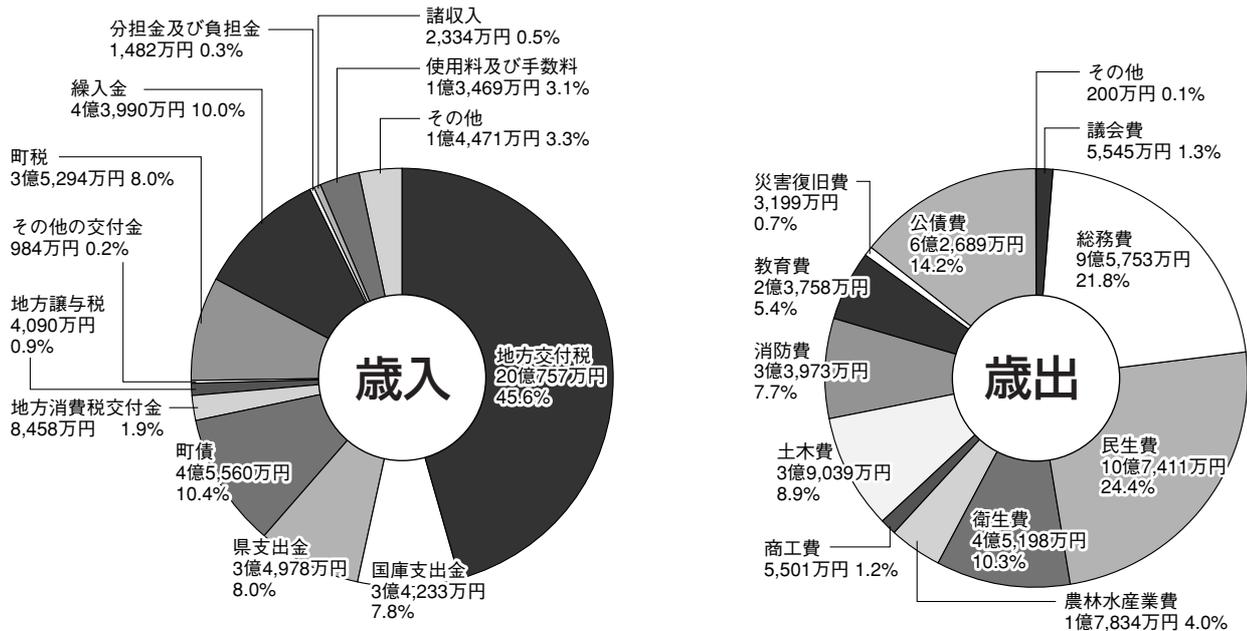
また、養殖マグロのプロモーション事業として、飲食店で提供できる新メニューの開発や、イベントでの解体ショーや試食、PRビデオの作成など、大月町への誘客やPRにより、産地としての認知度を高め、ブランド化に向けた取り組みを進めてまいります。

# 平成29年度 当初予算

## 一般会計

### 予算の総額 44億100万円

平成29年度の一般会計は、前年度に比べ1億9,800万円（4.3%）の減額となっています。これは、防災行政無線のデジタル化工事などを行った都市防災事業の終了が主な要因となっています。



歳入については、地方交付税が主なものとなっていますが、人口減少などにより減額する見込みとなっているため、今年度も引き続き基金の取り崩しなどによって予算編成を行いました。

歳出については、町債の新規発行の抑制や繰上償還等による公債費の削減、事業の見直し等により経常的な支出の抑制に努めているところですが、緊急性の高い南海トラフ地震対策事業および地方創生事業については、積極的に取り組む予算となっています。

## 特別会計・病院事業会計

特別会計は、特別な目的を持って独立採算を基本に経理される会計です。

本年度は、各特別会計と病院事業会計の合計は33億1,317万8千円となり1億575万7千円（3.3%）の増額となっています。

（単位：千円）

会計名	平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減額(A)-(B)	比較
特別養護老人ホーム特別会計	338,772	315,846	22,926	7.3%
住宅新築資金等貸付事業特別会計	662	662	0	0.0%
国民健康保険特別会計	1,196,720	1,228,547	△ 31,827	-2.6%
後期高齢者医療特別会計	101,864	88,724	13,140	14.8%
水道特別会計	336,828	211,000	125,828	59.6%
介護保険特別会計	807,687	799,042	8,645	1.1%
漁業集落排水処理事業特別会計	4,921	4,920	1	0.0%
病院事業会計	525,724	558,680	△ 32,956	-5.9%
合計	3,313,178	3,207,421	105,757	3.3%

# 平成29年度 職員配置

町長 岡田 順一  
副町長 浜崎 伸一  
教育長 濱崎 一洋

## 総務課

課長 浜田 苗己  
課長補佐兼住宅管財係長 岡崎 俊典  
住宅管財係 浜田 征臣  
主監 竹田 健一  
総務係長 徳弘 多恵  
総務係 豊田 倫之  
運転手 山崎 隆夫  
財政係長 岩越 大樹  
財政係 坂本 有志

## 危機管理課

課長 富岡 直人  
課長補佐兼地震対策係長兼 消防防災係長 岡田 康一  
地震対策係 半山 新  
消防防災係(新採) 長谷 大地

## 税務課

課長 平田 彰彦  
課長補佐兼収納係長 富田 洋子  
収納係 酒井 祐輔  
税務係長 宮崎 史也  
税務係 新谷 貴子  
田中 大地

山本沙也加  
山沖 夕莉  
租税債権管理機構へ派遣 吉福 一真

## 町民福祉課

課長兼 老人福祉センター所長 岡林 公美  
課長補佐兼保険係長 長岡 健二  
保険係 兼松 沙織  
福祉係長兼人権対策係長 柴岡 美裕  
福祉係 池 アユミ  
福祉係 大崎 杏莉  
住民係長 中田 政也  
住民係 中地 美和  
山崎 茎子

## 保健介護課

課長 岡村 幹彦  
課長補佐 小松 一雄  
保健衛生係長 松岡 佳子  
保健衛生係 横山 竜也  
保健師 黒田 真代  
山本 優  
主任看護師 (新採) 池本 萌香  
喜田 真代

## 地域包括支援センター

所長(兼務) 岡村 幹彦  
介護保険係長(兼務) 小松 一雄

## 産業振興課

課長 柴岡 功  
課長補佐兼水産振興係長 新谷 太  
水産振興係 坂本沙耶佳  
農林振興係長兼 農地整備係長 山岡 雅季  
農林振興係 横山 聖  
江口 裕斗  
(新採) 山本菜津美

## 農業委員会事務局

事務局長(兼務) 柴岡 功  
事務局次長(兼務) 新谷 太

## 農村環境改善センター

所長(兼務) 柴岡 功

## 建設環境課

課長兼総括検査監 山下 清司  
課長補佐兼土木係長 今宮 友和  
土木係 (新採) 吉村 冬尉  
技術係長(員人交流) 渡辺 好喜  
技術係 山岡 勇基  
濱田 剛瑠  
課長補佐兼生活環境係長 松田 耕一

介護保険係 安並沙弥香  
(新採) 黒岩 唯  
包括支援係長 小谷 麻理  
保健師 押川 麻美

## まちづくり推進課

課長 久松 誉昇  
課長補佐兼商工観光係長兼 地域対策係長 竹田 三鈴  
商工観光係 長谷川亮太  
企画政策係長 山岡 一大  
企画政策係 吉岡 靖友  
企画政策係 中平 聖大

## 県地域支援企画員

大月町ふるさと 振興公社へ派遣 岡崎末希子  
宮崎 朱美

## 土地対策室

室長 内原 英明  
室長補佐兼土地対策係長 蕨江 太一  
土地対策係 三好 雄一

## 出納室

(内線132)  
会計管理者 渡辺 隆盛  
出納係長 新谷 早苗  
出納係 谷岡 世菜

特別養護老人ホーム大月荘 73-11177  
園長 松本 実雄  
次長兼総務係長 小野美恵子  
生活相談員 松原 千景  
主任介護員 蕨江 直美  
介護員 下村美貴子  
中平 愛子  
富田 守保  
川淵 美保  
浜田 紋美  
清水 洋子  
中田 一彦  
中田 恵  
濱田 秀敏  
中平 雄太  
河野 南美  
菊地 知子  
山本 恵  
新谷千代里  
林 遥  
浜田八千畝  
吉田 由美  
濱田 涼大

## 大月病院

院長兼健康管理センター所長 73-11300  
医師 岡 聡司  
筒井 崇  
猪野 陸  
歯科医師 濱田 史人  
看護師長 前田 順子  
看護師長補佐 小橋 淑子  
井上 有希  
中野 弥生  
長谷 優子  
中平 三香

看護師

放射線技師  
理学療法士

臨床検査技師

薬剤師

歯科技工士  
歯科衛生士

管理栄養士  
調理師

田村 初子

濱田 愛

中川 操

半山 ゆかり

門田 恵美子

石黒 祥代

久保 沙弥

萩原 由香

岡林 亜耶

谷口 理恵

宮田 隆一

宮崎 悟志

安岡 典子

野口 まみ

齋藤 美紀

本田 有子

田村 太安

小島 あけみ

吉岡 志保

井村 清水

松岡 美智

大月病院事務局 ☎73-1300

事務局長  
事務長補佐兼  
総務係長兼医事係長

河野 賢二  
長岡 宏明

教育委員会事務局

☎73-1118

教育次長  
次長補佐兼総務係長

社会教育係長  
学校教育係長兼保育係長

田村 敦子  
岡田 倫幸

学校教育係  
保育係

奥谷 暁子

主任保育士  
保育士

(新採)  
国際交流員  
アデイ・ギンゴールド

小松 久美  
山本 恵  
吉岡 由香  
名倉 あゆ美

少年育成センター

☎73-1118

所長(兼務)  
補導専門職員

中央公民館

☎73-0049

館長兼図書館長(兼務)

総務係 (再任用)  
松本 しほ子

中央公民館月灘分館

分館長 津野 富侯

柏島公民館

☎76-0003

館長 福留 貴浩

大月中学校

☎73-0040

調理師 市吉 三津子  
津田 裕水  
(再任用) 奥田 真智

弘見保育所

☎73-0146

保育所長  
保育所次長  
主任保育士

高根 美保  
安岡 理恵子  
上岡 由美  
岡田 あかね  
白石 邦子  
片岡 由佳  
江口 由希  
加用 沙織  
中野 舞  
奥田 博子

調理師

奥 渚  
武市 早耶  
安岡 千冬  
中村 里文

柏島保育所

☎76-0425

保育所長  
主任保育士  
保育士

三保 木仁美  
西平 美香  
吉田 美紅

つきなだ保育所

☎74-0032

保育所長  
保育所次長  
主任保育士  
保育士  
調理師

中平 眞理  
米沢 智香子  
瀬戸 眞理  
林 菜由  
岡田 幸弥

議会事務局

☎73-1682

事務局長  
書記

岡田 剛典  
濱田 真帆

幡多西部消防組合大月分署

☎73-1313

分署長(消防司令)  
分署長補佐(司令補)

濱田 知  
畠中 澄夫  
吉松 昭人

第一分隊長(司令補)  
第二分隊長(司令補)

宮崎 研弥  
半山 友訓  
竹田 智也  
菊地 佑樹  
島崎 海喜  
谷 隆三

大月町ふるさと振興公社

☎73-1610

事務局長  
事務局次長  
運営主任  
運営員

新採 濱崎 秋春  
岡林 淳一  
上岡 和音  
畠中 圭悟  
三宅 耕平  
福原 恭平

退職者・転任者

松田 勇三  
(税務課課長補佐兼収納係長)  
菊地 和久 (大月病院事務局長)  
新谷 雄三 (総務課課長)  
内原 昌弘  
(特別養護老人ホーム  
大月荘次長兼総務係長)  
宮本 奈津子  
(柏島保育所保育所長)  
奥田 真智  
(大月中学校調理師)  
細川 ちなみ  
(保健介護課保健師)  
松本 しほ子 (中央公民館主任)

医師異動

橋元 球一 幡多けんみん病院  
橋元 幸星 自治医科大学後  
期研修

本年度より大月病院に院長として赴任いたしました、岡聡司と申します。

当院では一般内科領域及び小外科領域の診察に携わります。また他施設との連携のうえで、造血器腫瘍の診療にも取り組んでいきたいと考えております。体の不調でお困りの際はお気軽にご相談ください。



岡聡司医師 / 猪野陸医師

大月病院で内科医として勤務することになりました猪野陸と申します。町民の皆さまのお役に立てるように日々努力してまいります。何かお困りのことがあれば気軽にご相談ください。大月町の豊かな自然に囲まれた生活も楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願ひします。



吉村冬尉／濱崎秋春／長谷大地  
山本菜津美／池本萌香／黒岩唯／名倉あゆ美

## 新規採用職員紹介



4月1日付けで町職員となりました。1日も早く仕事に慣れ町民の皆さんのために頑張りますので、よろしくお願いします。

# 平成28年度 大月町文化賞・スポーツ賞

2月21日、役場大会議室におきまして『平成28年度大月町文化賞・スポーツ賞』の表彰式が挙行されました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。

## 文化賞

### 大月町文化賞受賞者一覧【個人】

受賞者	所属	受賞内容
坂本 梨子	中村高等学校	日本コロムビア全国吟詠コンクール青年の部 準優勝【吟題『春夜落城に笛を吹く』李白】
柴岡 廣喜	大月町文化協会	第66回高知県芸術祭 第45回高知県芸術祭文芸賞 芸術祭文芸賞受賞 作品『炎天や 赤秀の気根 地に届き』



坂本 梨子さん



柴岡 廣喜さん



## スポーツ賞

### 大月町スポーツ賞受賞者一覧【個人】

受賞者	所属	受賞内容
吉松 昭人	大月町体育協会	高知県市町村駅伝競走大会に大月町代表として30年連続出場

### 大月町スポーツ賞受賞者一覧【団体】

団体名	所属	受賞内容
ソフトボール部	大月町体育協会	県民スポーツフェスティバル2016 ソフトボールの部 優勝



吉松 昭人さん



体育協会 ソフトボール部

# 申請してください! 臨時福祉給付金



## 支給の要件は…

- 支給対象者** 平成28年度臨時福祉給付金(3千円)の支給対象者の方  
※平成28年度分の住民税(均等割)が課税されていない方が対象です。  
ただし、課税されている方に扶養されている場合、生活保護の受給者である場合などは対象とはなりません。  
また次の①～③に該当する方には申請書を送付していません。  
①住民税が課税されている方(課税されている方に扶養されている場合も含む)  
②生活保護制度の被保護者  
③住民税の申告を行っていないため、未申告となっている方  
※住民税の申告を行っていないため、未申告となっている方で、住民税の申告を行い住民税非課税となった方、また、申請書が届いていない方で、ご自身が対象と思われる方は、町民福祉課までご連絡ください。

●**支給額** 1人につき15,000円

●**基準日** 平成28年1月1日※基準日時点で大月町に住民票がない方の申請は受付できません。

## 申請の方法は…

- 申請書類** 申請書、本人確認ができるもの  
【運転免許証、健康保険証、旅券の写し等(対象者全員分)】  
受取口座が確認できるもの通帳・キャッシュカードの写し等  
※前回までと同じ受取口座の場合は必要ありません。

●**申請先** 大月町役場町民福祉課福祉係(臨時福祉給付金担当)

●**申請期間** 4月21日(金)～10月20日(金)(当日消印有効) 8:30～17:15(土・日・祝日を除く)

■お問い合わせ 町民福祉課 福祉係(臨時福祉給付金担当) ☎73-1113

## ねんきんコーナー

### ●国民年金保険料が変わります

平成29年4月分から平成30年3月分までの国民年金第1号被保険者および任意加入被保険者の1カ月当たりの保険料は16,490円です。

なお、定額保険料に付加保険料(月400円)を上乗せして納めることで、受給する年金額を増やすことができます。

### ●国民年金保険料学生納付特例制度

20歳以上であれば学生であっても、国民年金に加入しなければなりません。しかし、本人の前年所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

学生特例を受けた期間は、加入期間には含まれますが、保険料を全額納付した場合よりもらえる年金額が少なくなるため、年金額を増やすために10年以内であればさかのぼって納めることができます。

### ●年金相談をご利用ください

毎月1回第4火曜日に、役場会議室にて日本年金機構幡多年金事務所による出張年金相談を行っています。

時間は10時から15時(昼休みは除く)で、相談は予約制です。

各世帯に、平成29年度の相談日程表を配布していますので利用ください。

■お問い合わせ 町民福祉課 保険係(年金担当) ☎73-1113

# こんなときは必ず14日以内に届出を!!

## 国保に加入するとき

こんなとき	届出に必要なもの
職場の健康保険をやめた	職場の健康保険をやめた証明書、印鑑
職場の健康保険の扶養をはずれた	扶養者でない理由の証明書、印鑑
生活保護を受けなくなった	印鑑

届け出が遅れると…

- 新しく国保の保険証が交付されないため、医療費が全額自己負担になります。
- 保険税は届け出をした日ではなく、国保の加入資格を得た日から納めなければなりません。

## 国保をやめるとき

こんなとき	届出に必要なもの
他の市町村に転出する	保険証、印鑑
職場の健康保険等に入った（就職等）	国保の保険証、職場の健康保険証、印鑑
職場の健康保険等の被扶養者になった	国保の保険証、職場の健康保険証、印鑑
生活保護を受けるようになった	保険証、印鑑
一定の障害（65歳以上）により後期高齢者の対象になった	障害者手帳、保険証、印鑑

届け出が遅れると…

- 国保の保険税と新しく加入した医療保険から保険税の請求がくることがあります。
- 国保をやめたあとに、国保の保険証を使って医療を受けると、国保が負担した医療費を返還しなければならない場合があります。

## その他

こんなとき	届出に必要なもの
保険証をなくした（あるいは汚れて使えなくなった）	本人であることを証明するもの（使えなくなった保険証など）、印鑑
就学のため子どもが他の市町村に転出する	学生証等、保険証、印鑑

- 就学のため届け出をした場合、就学を終えたときも必ず届け出をしてください。

■お問い合わせ 町民福祉課 保険係 ☎73-1113

## 児童扶養手当加算額への物価スライド制導入

4月1日から児童扶養手当の第2子・第3子以降の加算額に物価スライド制が導入されています。物価スライド制とは、物の価値の上がり下がりを表した「全国消費者物価指数」に合わせて、支給する額を変える仕組みです。

ひとり親家庭は、子育てと生計を1人で担わなければならない、特に子どもが2人以上のひとり親家庭は、より経済的に厳しい状況にあります。このため、特に経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭に重点を置いた改善を図ることとなります。

導入後の手当（4～7月分）は、8月に支払われます。

■お問い合わせ 町民福祉課 福祉係 ☎73-1113

# 大月町特定健診実施予定表

40歳以上の方を対象に特定健診が実施されます。1人でも多くの方に受診していただけるよう、下表のとおり各地区で集団健診を行います。都合の悪い方は、大月病院で実施される個別健診をご利用ください。

受診券は、各地区の集団健診の日程にあわせて、1ヵ月前を目安に送付します。なお、個別に受診券が必要な方は、下記へお問い合わせください。料金は無料です。

個別健診は、町外の医療機関でも実施しています。平成28年度より、町外医療機関での健診受診も、料金は無料となりました。なお、町外医療機関での受診に際しては、予約等が必要な場合がありますので、必ず事前にお問い合わせください。

※後期高齢者医療の方で、下記に該当する方は健診の対象となりませんので、受診券は発行されません。

- ① 血圧、脂質異常、糖尿病等で病院や診療所を受診されている方
- ② 6ヵ月以上、継続して入院されている方
- ③ 介護施設や障害者施設に入所されている方
- ④ 事業主健診を受診されている方など

また、平成29年4月1日以降に、新たに後期高齢者医療の被保険者となられる方は、受診券が送付されませんので、町民福祉課 保険係までお問い合わせください。

## 集団健診

各地区に出向いて行います。申し込みは不要です(弘見地区、ひろい検診を除く)。

健診日	会 場	対 象 地 区
5月25日(木)	姫ノ井体育館	姫ノ井・赤泊・春遠・唐岩
6月6日(火)	旧橘浦小学校	橘浦
6月21日(水)	古満目地区交流センター	古満目
7月3日(月)	檜西体育館	檜ノ浦・西泊
7月27日(木)	安満地区集会所	安満地
8月25日(金)	農村環境改善センター(要予約)	弘見・泊浦・龍ヶ迫
8月26日(土)		芳ノ澤・添ノ川
9月5日(火)	健康管理センター	清王・鉾土・周防形
9月13日(水)	柏島区役場	柏島・一切
10月2日(月)	月灘体育館	小才角・才角・大浦・月ヶ丘
10月12日(木)	平山区役場	頭集・平山
10月22日(日)	農村環境改善センター(要予約)	ひろい検診

※当日は、受診券を忘れずにご持参ください。

■お問い合わせ 集団健診について：保健介護課 保健衛生係 ☎73-1365  
受診券について：町民福祉課 保険係 ☎73-1113

## 社会保険加入者の特定健診について

特定健診を受診される際には受診券が必要です。社会保険加入の方は、保険者が発行する受診券を持参のうえ、集団健診、個別健診を受診してください。

全国健康保険協会(協会けんぽ)加入者には、4月初旬に受診券が自宅宛に郵送されています。それ以外の社会保険加入者は、それぞれが加入する保険者(会社など)にお問い合わせください。また、受診できる医療機関が決まっていますので、説明書等をお読みのうえ、希望する医療機関での特定健診を受診してください。

加入する医療保険では、大月病院の特定健診が利用できない方は、事前に保健介護課までお問い合わせください。

■お問い合わせ 保健介護課 保健衛生係 ☎73-1365

# 「森の里春遠集落営農組合」が設立されました！

農業を取り巻く環境は、農産物価格の低迷、農家の高齢化や後継者不足などに直面し、本町においても厳しい状況となっています。そこで、春遠地区では平成26年の先進地視察を皮切りに、集落営農について勉強会や話し合いを重ねてきました。そして、“地域のおいしいお米は地域で守る”を合言葉に5名の有志が立ち上がり、3月4日に「森の里春遠集落営農組合」が設立されました。これからは、地域の水田農業の受け皿として、お米を中心とした農業経営や農作業受託に取り組み、耕作放棄地の発生予防や解消をはじめとした集落活動の維持発展の取り組みにも期待がかかります。

集落の協力が  
必要不可欠！



▲「森の里春遠集落営農組合」の組合員

## 集落営農ってなに??

集落営農とは、複数の個人が集まり機械の共同利用や作業の共同化により農業経営の効率化を図る取り組みのことです。皆さんの地域でも、

「年もとったし、来年はもう、よう作らん」

「持ちちょう機械が壊れたら買い換えてまではやれん」

「誰っちゃ作らん農地が増えようけど、代わりに作る余裕はない」

と言った声があちらこちらから聞こえてきませんか？

これらは集落の悲鳴です。農家だけの悩みではありません。

10年後の集落を想像したとき、農地は荒れ放題です。そうなった場合、集落で生活ができるでしょうか。自分たちの子どもや孫に住みやすい集落を残していくためにも、現状から目をそむけず、今後のことについて集落全体で話し合うことが大切です。

高齢者の方や農地・機械を持っていない方、兼業農家の方も集落営農組織の一員となれます。集落の農業を維持発展させていくため、皆さんで話し合いを進めてみてはいかがでしょうか。



▲話し合いの様子

■お問い合わせ 産業振興課 農林振興係 ☎73-1115

## 県(地域支援企画員)からのお知らせ



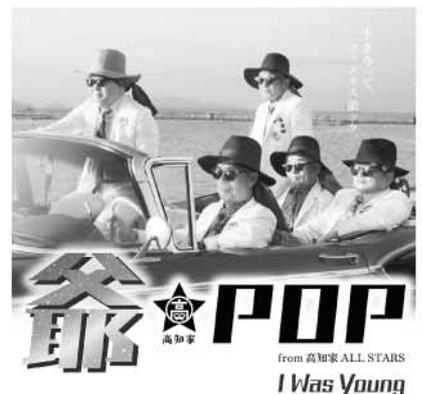
### 爺-POP第2弾始動!!

高齢化率全国第2位でもある高知県をPRするために、昨年2月にデビューした平均年齢68.2歳のお爺ちゃんアイドル「爺-POP from 高知家 ALL STARS」の新曲が今年2月に発表されました。第2弾の新曲名は『I WAS YOUNG』。「生きるって、ファンタズ爺ック」をテーマに、全編英語による楽曲となっています。

今回も前回に引き続いて大月町弘見の谷岡憲泰さんに出演していただきました。今回のプロモーションビデオの撮影は宿毛新港でも行われました。谷岡さんは、中央でかっこいいダンスを披露しながら、爽やかに外車を乗りこなされています。動画投稿サイト「You Tube」での再生回数は60万回を突破し、海外メディアからも注目されています。

是非、高知家のHPで新曲『I WAS YOUNG』のPVをご覧ください。

<http://www.kochike.pref.kochi.lg.jp/~top/gpop2017/>



■お問い合わせ 高知県地産地消・外商課 高知家プロモーション推進室 ☎088-823-9741  
地域支援企画員 岡崎末希子 ☎62-4117

# 農業委員および農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員の選出方法が公選制から任命制に変更されました。また、新たに農地利用最適化推進委員が新設されました。

新しい農業委員および農地利用最適化推進委員を次のとおり募集します。

農業委員の要件	農地利用最適化推進委員の要件
農業に関する見識を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項および農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる方	農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する方 ※農地等の利用の最適化とは、 ①担い手への農地利用の集積・集約化 ②遊休農地の発生防止・解消 ③新規参入の促進のことです

項目	農業委員	農地利用最適化推進委員
募集人数	7名	7名
募集方法	個人や法人・団体からの推薦および個人による応募	
職務	農地等の利用の最適化の推進に関する事項 農業委員会の所掌に属する事項	担当区域内での農地等の利用の最適化の推進
資格	次の全てに該当すること 1 公租公課(※)に滞納がないこと ※町県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料・保育料・水道使用料 2 農業委員会等に関する法律第8条第4項各号(※)に該当しないこと ※①破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者 ②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者	
申込方法	推薦者は推薦書、応募者は応募申込書に同意書および候補者の住民票(本籍が記載されたもの)を添付して、農業委員会事務局まで持参するか、もしくは郵送してください。	
募集締切	5月2日(火) ※必着	
任期	平成29年7月20日～平成32年7月19日	選任された日～平成32年7月19日

★推薦書および応募申込書は農業委員会事務局に備えてあります。

また、町ホームページからもダウンロードできます

◎ 農地利用最適化推進委員の担当区域および定員

地区番	担 当 区 域	定員
1	馬路・田城・成畑・芝・本田・添ノ川	1人
2	長沢・地吉・笠木・大駄場・泊浦	1人
3	郷・亀尾・清王・鉾土	1人
4	頭集・平山・古満目・柏島・一切・安満地・橘浦	1人
5	龍ヶ迫・本村・内平・白浜	1人
6	小才角・才角・大浦・月ヶ丘・春遠・唐岩	1人
7	姫ノ井・赤泊・西泊・檜ノ浦・周防形	1人

■お問い合わせ 大月町農業委員会事務局 ☎73-1115



## スポーツ安全保険



### 公益財団法人 スポーツ安全協会 高知県支部

〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52 TEL088-820-1755 電話受付時間 午前8時30分～午後5時15分  
高知県庁西庁舎1階 (土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

スポーツ安全協会 検索  
インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。



携帯電話から資料請求ができます。

# 地域おこし協力隊が行く!

こんにちは、地域おこし協力隊の米谷です。

早いもので、4月から協力隊3年目に入りました。いつもは「おつきふれあい市」で外商担当として地域産品の開発や販路拡大が任務の大半だったのですが、平成27年末から「ふるさと納税」を担当することになりました。商品企画、商品確保から発送まで。本格的に、ふるさと納税に町が取り組むようになった初年度は、5,900万円と過去7年間の平均である52万円の100倍以上と大きく上回りました。2年目となる昨年度も1億6,000万円と初年度よりさらに2.6倍と躍進を続けています。ここまで伸ばす事ができたのは町内の生産者さん・加工業者さんあつての事です。この場を借りてお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。しかし、ふるさと納税と言ってもよくわからない方も多いのではないのでしょうか？



簡単に説明すると、自治体にふるさと納税をした場合、原則として自己負担額の2,000円を除いた全額が住民税及び所得税の控除の対象になり、寄附先の自治体からは寄附者に対し地元の特産品などの返礼品が送られます。自治体側は、返礼品に係わる経費などの残りが独自の財源となり、寄附者が指定した分野の事業に活用されます。昨年度の大月町で言うと1億6,000



万円を超える寄附を受け付けていて、その返礼品として多くの大月町産の特産品が送られたことになるのです。すごい事ですよ！今年度の目標は1億3,000万円。大月町の野菜・魚・鶏・豚や加工品を町外のまだ大月町を知らない方々へPRし、通販事業へ繋げていけるようにがんばります。ちなみに協力隊の任期は3年。今年が最後の任期になります。

もちろん任期満了後は妻の里である柏島を中心に農業と漁業に携わっていきたいと思っています。

■お問い合わせ まちづくり推進課 企画政策係 ☎73-1181

地域おこし協力隊facebook <https://www.facebook.com/otsukikochi>

## 大月町移住応援隊 活動新聞

第14号

### 「第2回移住者交流会 ～魚のさばき方教室の巻～」

皆さんこんにちは、大月町移住応援隊の坂本です！

新年度が始まり、新しく保育所に入るお子さん、新1年生、新社会人と新しい生活が始まりもうすぐ1カ月ですね。そろそろ新生活に慣れてきたころではないでしょうか。

私たちも2年目に入り、また同じ2人で活動していきますので、これからもよろしく願いいたします。

さて、今回は2月25日に開催しました、「魚のさばき方教室」をご紹介します。今回は14世帯32名(うち子ども11名)の方に参加していただきました。土佐大月海産の天野さんを講師に招き、ブリ・サバ・アジ・イカのさばき方を教えていただき、その後はみんなで作って食事会となりました。小学生の子どもたちが集中して作業している姿が印象的でした。今まで魚をさばいた事はあっても自己流だったり知らなかった事もあり勉強になったという感想もいただきました。参加者のみなさま、ありがとうございました。



■お問い合わせ まちづくり推進課 移住相談員 ☎73-1181

移住相談員facebook <https://www.facebook.com/tsunagu.otsuki>

# ふるさと納税返礼品を募集します

本町では、平成27年4月よりふるさと納税をされた方への返礼品の送付を本格的に開始するとともに、大月町ふるさと振興公社と連携し町内の特産品等を活用した返礼品の企画、開発を進めてきました。平成28年度も1億6,000万円を超える寄付を受け付け、その返礼品として多くの町内産品が全国各地に発送されています。

町では、このふるさと納税制度を活用し、本町の魅力や特産品のPR、販売促進、地元生産者及び事業者等の基盤強化につながる取り組みにしたいと考えています。

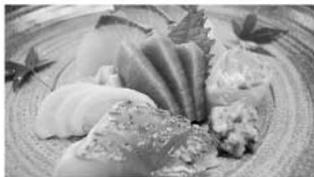
つきましては、下記のとおり新たな返礼品を募集しますので、興味のある方はぜひ一度お問い合わせください。

## ○応募要件・募集する返礼品

- 町内に事業所がある団体または個人事業者であること。
- 返礼品は大月町の魅力を伝えるため、大月で生産、製造、加工されたものとし(食品、加工品、工芸品等)、加工品等についての主な原材料は町内産若しくは県内産を使用するものとする。
- 年間を通して発送できるもの、季節限定のもの、数量限定のものいずれでも可とする。

## ○申し込み方法

- 随時募集を行っています。詳細について打ち合わせ等を行いますので、下記までお問い合わせください。



■お問い合わせ まちづくり推進課 企画政策係 ☎73-1181  
大月町ふるさと振興公社 ☎73-1610

## 地域包括支援センター通信…………… No.4

### 今回は介護予防のポイントについて紹介します

何歳になっても住み慣れた地域で元気に生活するため、介護予防に取り組みましょう！

介護予防とは、年齢を重ねても自分らしく元気で生活するための生活の工夫です。たとえ90歳を超えていても、身体を動かすことで体力や筋力などの運動機能は改善できるといわれています。「もう年だから」とあきらめず、積極的に取り組みましょう。また、元気なうちから始めることでさらに効果があります。

#### <介護予防の3つのポイント>

3つのポイントは一体的に取り組みましょう。



- 彩りの良い食事バランスのとれた栄養を摂る
- 楽しくおいしく食べる

3度の食事

お口の健康

- 定期的な歯科検診
- 口の体操をする
- よく噛んで食べる

- 筋力維持で転倒予防
- 家事や外出など身体を動かす習慣をもつ

自立した生活をおくるためには、自分の身の回りのことができる体力とエネルギーとなる栄養素を十分に摂れるよう、食事をしっかり噛めて吞み込める口の健康が大切です。

ご自身の生活を振り返り、必要な介護予防に取り組みましょう。

次回からは、3つのポイントについて具体的な方法を紹介していきます。

■お問い合わせ 地域包括支援センター ☎73-1700

# 避難情報(避難準備情報等)の名称変更について

昨年の台風10号による水害では、東北、北海道の各地で甚大な被害が発生しました。とりわけ、岩手県では、グループホームが被災するなど高齢者の被災が相次ぎました。

この水害では、高齢者施設において適切な避難行動がとられなかったことを重く受け止め、国は、高齢者等が避難を開始する段階であるということを確認するため、「避難準備情報」を「避難準備・高齢者等避難開始」に名称変更することとなりました。

(変更前)	(変更後)
避難準備情報	避難準備・高齢者等避難開始
避難勧告	避難勧告
避難指示	避難指示(緊急)



「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示(緊急)」については以下のとおりです。

情報種別	拘束力	内容
避難準備・高齢者等避難開始	弱	災害により避難が必要になると予想される時に、速やかに避難できるように準備を促すもの。また、高齢者など避難に時間のかかる人(避難行動要支援者)を早期に避難させるため呼びかけるもの。
避難勧告	中	災害の発生する恐れのある場合に、避難のため立ち退きを勧めるもの。
避難指示(緊急)	強	災害が発生している、もしくは発生する危険性が非常に高まった場合に、避難のため立ち退きをさせるためのもの。

## ○避難情報の発表について

本町では災害の状況に応じて、「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示(緊急)」を行います。これらの避難情報の発表については、時間帯に関わらず(早朝・深夜でも)、告知放送端末等を利用して住民の皆さんに伝達します。

周囲の状況や雨の降り方にも注意し、避難情報が発表されていなくても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難、早期避難を心がけましょう。

## 住宅の耐震改修に補助金があります!

### 木造住宅耐震診断調査事業

地震が起こった際、旧建築基準によって建てられた建物(昭和56年以前)は倒壊しやすいといわれています。

耐震診断を希望する方に、建築士(耐震診断士)を派遣し、診断を行います。

○対象住宅 昭和56年5月31日以前に建築(増築及び改修を含む)された住宅

○耐震診断費用 無料(申請に必要な書類発行代は除く) ※非木造一部補助あり

### 木造・非木造住宅耐震改修工事費等補助事業

○対象住宅 耐震診断を行った結果、耐震性に問題があり倒壊の危険性が高いと診断された住宅

○補助金額 耐震改修設計(補助限度額30万5千円)⇒どうすれば倒壊しないか設計し、工事費を算出します

耐震改修工事(補助限度額92万5千円)⇒設計に基づき補強工事を行います。

### ブロック塀等耐震対策事業

○補助対象 避難路等に面している危険性の高い既存コンクリート塀等

○補助限度額 20万5千円(除去及び改修にかかる費用)

### 老朽住宅除去事業補助金

○補助対象 空き家であり倒壊や火災により周囲の住家や一般国道、県道、町道、避難路に被害をおよぼす可能性のあるもの等

○補助限度額 164万5千円(除去工事費に10分の8を乗じて得た額)

※現地調査により対象住宅を判定する必要があるため、事前に相談してください。

■お問い合わせ 危機管理課 消防防災係 ☎73-1140

## 消防学校一日震災訓練行われる

高知県にも必ずやってくるといわれている南海トラフ地震に備えて、高知県消防学校で一日震災訓練が行われ、本町からも女性防火クラブ、自主防災会から13名が参加しました。訓練では、地域における防災体制の充実、強化を図る事を目的として、地震対策の講話や応急手当の方法を教わりました。

実践的な訓練では、火災が発生した場合に備え、バケツリレーや消火器での消火方法、倒壊した家の下敷きになった人の救出や、けが人に対する応急救護の方法、起震車にて震度7の揺れも体験しました。

震災での被害を最小限に抑えるためには、自分自身の災害への対応力を高めること（自助）、地域の皆さんがお互いの力を合わせる（共助）がとても大切です。南海トラフ地震は今後30年以内に60～70%の確率で発生すると言われており、本町でも強い揺れや津波で大きな被害が出ると考えられます。

非常時に持ち出すものをまとめたり、各地区の避難所やそこまでの経路を確認して、日頃から震災に備えておきましょう。

### 新型消防車両配備

大月町消防団第6分団春遠部に、新型消防車両が配備されました。積載されている小型ポンプや資器材も新しいものとなり、地域防災への貢献が期待されます。

### 携帯電話から消防署への119番通報について

本町内で携帯電話を使って119番通報をすると、まずは宿毛消防署（場所によっては愛南消防署や土佐清水消防署）へつながります。それから大月分署へ電話を転送してくれますので、少し時間がかかります。その間、通話を切らずにお待ちください。ただし、家庭等にある固定電話からの119番通報は、直接大月分署へつながりますが、緊急時には固定電話からの通報をお願いします。

平成29年度 全国統一防火標語「火の用心 ことばを形に 習慣に」

■お問い合わせ 幡多西部消防組合 大月分署 ☎73-1313



## 国際交流員だより Let it Go アデコのままで

大月小中学校の新生入生、入学おめでとうございます！4月からどんどん忙しくなるかもしれませんが、一緒に頑張りましょう。

春休みを楽しめましたか？今年には人生初の一人旅に行きました。母国のアメリカには、女性が一人旅に行くのが危ないので、日本にいる間に行ってみようと思いましたが、日本語は私の第二言語なので緊張しましたが、九州の自然を面白く味わえました。大変でも、一人になること、経験がないこと、そして間違えることを怖がらないようになりましょう。

2月号の広報では、外国語の楽しい勉強の仕方について発表しましたので、今回は小学校の4～6年生の皆さんにスペシャルチャンスを与えたいと思います！

6月に開催予定の、第24回国際交流会 IN 大月に参加しませんか？ゲーム、料理、クラフトなどという活動で国際的なつながりを作ったり、外国語を楽しく練習したりするイベントを行いますので、興味のある方はぜひ遊びに来てください。

■お問い合わせ 教育委員会 国際交流員 ☎73-1118



## 行事予定表(5月～6月)

月	日	曜日	行事名および内容	場 所	時 間		
5	5	金	第18回 わんぱくフェスティバル	ふれあいパーク・大月	9:00～		
			毎年こどもの日に行われている「わんぱくフェスティバル」。様々なミッションをクリアして、最後のピンゴゲーム大会に挑戦。どんな景品があるかは当日のお楽しみに！				
			■お問い合わせ 大月町イベント実行委員会 ☎73-1610				
	14	日	高知家健康パスポートPRイベント	健康管理センター	10:00～11:30		
			健康パスポートはお持ちですか？脳年齢テストや血圧測定に参加して、パスポート取得のためのポイントをGETしましょう。大月病院岡院長による健康相談コーナーもあります。ぜひご参加ください。				
	■お問い合わせ 保健介護課 保健衛生係 ☎73-1365						
20	土	公民館サークル発表会	農村環境改善センター	13:00～予定			
		今年も各サークル（民謡・カラオケ・歌謡体操・詩吟・コーラス・舞踊・スポーツダンス等）会員が日頃の練習の成果を発表いたします。たくさんの皆さまのご来場をお待ちいたしております。					
		■お問い合わせ 中央公民館 ☎73-0049					
6	10	土	ウミノフォトフェス in カシワジマ2017	すくも湾漁協柏島支所	9:00～		
			大月の豊かな海をテーマにした写真コンテスト！ほかに県内グルメやステージイベント、体験メニューも盛りだくさんです！				
			■お問い合わせ 大月町観光協会 ☎62-8133				

## 合併浄化槽設置補助事業について

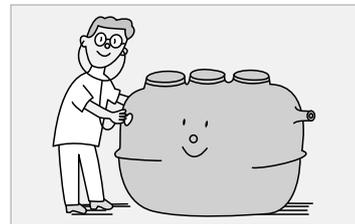
本町では、河川などの水環境を保全するため、家屋の新築、単独浄化槽や汲み取り式トイレから合併浄化槽に変更するなど、新たに合併浄化槽を設置する方に対して費用の一部を補助しています。

### ●補助の条件

一般住宅（住宅兼用事務所・店舗等では住宅部分の面積が50%以上の建物）に、新たに設置する合併浄化槽で、平成30年3月末日までに工事が完了見込みであり、かつ未着工であること。

### ●補助金額

住宅の延べ床面積等	人槽	補助金額
130平方メートル未満	5人槽	332,000円
130平方メートル以上	7人槽	414,000円
二世帯住宅	10人槽	548,000円



### ●申込方法

申込書に必要事項を記載し、必要書類を添付したうえ、建設環境課生活環境係まで提出してください。申込書は建設環境課に備えてあるほか、町ホームページからもダウンロードできます。申込は先着順とし、予算がなくなり次第終了とさせていただきます。

## ごみはルールとマナーを守って出しましょう

町内のごみステーションで、町指定のごみ袋に入れずにごみを出す方が増えています。町指定のごみ袋に入れずに出しているごみは収集しません。収集時にルールが守られていないごみ袋には警告文書を貼り、ごみステーションに置いていきますので、必ず出した方が回収し、町指定のごみ袋に入れて出しなおしてください。警告文書が貼られているのに回収されないごみ袋は、ごみを確認して、出した方を調べることがありますのでご了承ください。

ごみステーションの利用については、「大月町一般廃棄物収集日程表」により周知している「ごみの分け方」「ごみの出し方」のルールを守って利用してください。

■お問い合わせ 建設環境課 生活環境係 ☎73-1114



【警告例】町指定のごみ袋より大きいごみ袋に町指定のごみ袋を貼り付けている



【警告例】町指定のごみ袋ではなくスーパーの袋を貼り付けている

## おしらせ

INFORMATION

### 胃がん検診の会場変更について

本年度から胃がん検診の実施場所が、健康管理センターに変更になりました。これは、県内での胃がん検診用車両の配車の関係と検診実施時に医師による緊急処置がでることが条件となったためです。受診される皆さんには、ご迷惑をおかけしますがご理解のほどよろしくお願い致します。

#### ■お問い合わせ

保健介護課 保健衛生係  
☎ 73-11365

### 行政相談センター

総務省から委嘱されている行政相談委員が、国などの行政に対する相談、苦情、要望等を聞き、解決の促進を図ります。「国の仕事」、「県や市町村が国の補助を受けて行っている仕事」などについて困っていること、分からないことなどがありましたら、行政相談所をご利用ください。

#### ●日時

6月1日(木) 8月1日(火)  
10月2日(月) 12月1日(金)  
2月1日(木)  
10時～正午

#### ●場所

大月町社会福祉協議会事務所相談室

#### ●大月町行政相談委員

長山 巖  
☎ 73-11793

※相談は委員の自宅や電話でも受け付けています。

#### ■お問い合わせ

町民福祉課 人権対策係  
☎ 73-11113  
大月町社会福祉協議会  
☎ 73-11119

### 住宅改修支援事業について

高齢者等が居住する住宅を身体状況に応じて安全かつ利便性に優れた物に改修することにより、本人および介護者等の負担軽減を図ることを目的に、予算の範囲内で補助金を交付します。

対象者は、本町に住所を有し、次に該当する世帯で、生計中心者の前年の所得税額が30万円未満の世帯。

①介護保険制度の要支援から要介護の判定を受けた者を含む世帯

②身体障害者手帳の交付を受けた者で身体上の障害が一級または二級の者(一部、運動機能障害のある障害等級三級を含む。)を含む世帯

③①および②に該当しない65歳以上の高齢者のみで居住している世帯

補助対象基準額(総工事費)は、①および②の世帯は100万円まで、③の世帯は30万円までです。そのうち、県3分の1、町3分の1補助、残

りは申請世帯の負担となります。改造内容によっては、対象にならないものもありますので、申請を希望される世帯は、現地へ訪問、聞き取り、説明をしますので左記までお問い合わせください。

#### ■お問い合わせ

町民福祉課 保険係  
(住宅改修支援事業担当)  
☎ 73-11113

### 小型船舶乗船者に対する救命胴衣着用義務拡大

平成30年2月1日以降、総トン数20トン未満の船舶の船室の外にいる全ての乗船者に対して救命胴衣着用させることが船長の義務になります。

救命胴衣の着用の有無が海中転落時の生死を分ける大きな要因の一つとなっていますので、船舶乗船時には必ず救命胴衣を着用してください。また、海上保安庁では、「海上の安全情報」として「M-ICS」というサイトを開設

し、漁業者をはじめ、さまざまな海域利用者に安全情報などを提供しています。ご利用してください。

#### ■お問い合わせ

宿毛海上保安署  
☎ 65-8117



# 大月町制施行60周年記念式典を開催しました

2月11日、町制施行60周年記念式典が改善センターで行われ、町内外からたくさんの方の来賓を迎え、ともに節目を祝い、町制のさらなる飛躍を誓いました。

式典では、町の教育文化や防災、地方自治、社会福祉に貢献した町民7名の表彰や大月町文化賞を受賞した坂本梨子さんが詩吟で式典を祝ったほか、町のキャッチコピー、町の魚の発表などを行いました。

60周年の節目に当たり、過去を振り返り伝統と文化を守りながら、未来に向けて発展していきたいと思えます。

## 町の魚に【マグロ】!!

本町には、町の花「はまゆう」、町の鳥「おおみずなぎどり」、町の木「うばめがし」と、主に山や大地に関係するものが町の象徴として制定されています。しかし、キレイな海に囲まれた本町で、海をイメージさせるものも何も制定されていない状況でした。

そこで、町制60周年を記念し、本町をイメージすることのできる「町のさかな」を決めることになりました。選考には大月小中学校の子どもたちに協力していただき、事前にゆかりのある魚を10種類ほど選出、その中から最も本町を代表すると思われる魚を選んでいただく投票形式で町の魚を決定しました。その結果町の魚として「マグロ」が選ばれました。水産業や観光業など様々な分野で海洋資源の恵みを数多く受ける本町を代表する魚として、今後の取り組みや、様々な分野での大月町のPRに活用していきたいと考えています。

## 町のキャッチコピー【海と山 人とかわるやさしい町】

60周年の節目を迎え、住民の皆さんに元気を与え、町内外に強くアピールできるキャッチコピーを公募しました。その結果20通の応募があり、その中で本町のイメージに合致するものを、町のキャッチフレーズとして使用することに決定し、和田加奈さんが提案してくれました「海と山 人とかわるやさしい町」が選ばれました。ご応募いただきました作品には大月町の自然をコンセプトにしたものが多くみられたことが印象的でした。これからはこのキャッチコピーを合言葉に、次世代の子どもたちが誇りに思えるような、人にも自然にもやさしくあれる町づくりに取り組んでいきたいと思えます。



# 知っちょこ! 大月まめ知識

## 宝石を育てる貝 真珠貝

Vol.26

美しい光沢を放つ「真珠」は生きた貝の体の中でつくられる海の宝石です。真珠をつくる貝にはたくさんの種類がありますが、アコヤ真珠の養殖に用いられるアコヤガイや黒真珠をつくるクロチョウガイなどが有名です。これらの真珠貝はおおつきの海にもたくさん生息しています。アコヤガイのほうは内湾的な環境のごく浅い水深の場所にすんでおり、潮の引いた磯で二ナ拾いなどをしていると時々出会います。また、港の中の係留ロープや養殖イカダなどにたくさんついていることがあります。一方、南方系で大型の真珠貝であるクロチョウガイは、アコヤガイと比べると外洋的な環境を好み、生息する水深も深いため、町内でダイビングをしているとよく目にします。分布密度は高く、岩の隙間に何個体も重なってついていることもあります。どちらの種類も見た目は地味な貝ですが、その殻の中に美しい真珠を秘めているかもしれないと思うとワクワクさせられます。(黒潮生物研究所 中地シュウ)

